XTM ワークベンチが最適な翻訳環境である理由

エンタープライズグレードのプレミア翻訳管理システムの開発者である xtm インターナショナルは、今後も XTM クラウド v12 の一部として再開発された翻訳エディターをリリースする予定です。7月上旬2019に予定されている XTM ワークベンチは、**翻訳者に効率と生産性を**もたらします。拡張機能の概要を次に示します。

**より直観的で柔軟な**

技術と設計が変わった今、2004年に元になった既存のエディタを刷新することは、論理的なステップでした。主なアイデアは、熟練した言語学者と緊密に協力して、最も生産性が高く、直観的で、柔軟な翻訳環境を提供できるよう、it を基礎から再**開発**することでした。

**これまで以上にユーザーフレンドリー**

クリーンで人間工学に配慮したユーザーインターフェイス (UI) は、以前のバージョンと比較してはるかにユーザーフレンドリーなワークスペースになります。エディタの両側にあるツールバーは、上部のナビゲーションバーと状況依存のメニューに移動され、使用可能な領域を最適化します。また、マッチ、一致、QA、インライン、履歴、コメントなどのセグメントに関するすべての情報は、画面の最下部にドッキングされたパネルに移動し、作業のための領域を整頓したままにしています。

**スムーズで途切れのない翻訳ワークフロー**

言語学者は、ドキュメントを介して作業として新しいワークベンチでは、セグメントが自動的にスムーズかつ中断のないワークフローへの道を与えるシームレスなユーザーエクスペリエンスを提供するロードします。時間のかかる改ページ調整の代わりに、ユーザーはスクロールするだけでセグメント間を動的に移動できます。

**XTM ワークベンチでより迅速かつ効率的に**

言語学者は、改善された設定可能な繰り返しを使用して作業をスピードアップし、ドキュメント全体に自動的に伝播することもできます。これにより、繰り返されるインスタンスごとに時間と労力を節約できます。同様に、[検索と置換] オプションは、プロジェクト内のすべてのファイル内の単語のバッチ検索と置換を実行するように拡張されました。

**高品質保証**

XTM ワークベンチは、より強力な品質保証 (QA) のおかげで品質を高めるために再設計されました。アクティブなセグメントやすべてのセグメントではなく、表示されているすべてのセグメントで品質チェックを実行できるようになりました。

**未確認の翻訳の下書きステータス**

言語および技術専門家の設計チームは、新しいセグメントステータス: 下書きを導入しました。これにより、翻訳者は検証された訳文なしで簡単に検索し、セグメントに戻ることができます。

新しい XTM ワークベンチを試して、ローカリゼーションと翻訳の最新の課題に対応する方法をご覧ください。XTM クラウドは、市場で最高の翻訳技術を活用して、効率的かつ生産性を向上させることが!